

ミジンコを漢字で書くと「微塵子」となります

「原形をとどめないほど細かく打ち砕かれた」という意味のコツパミジン（木端微塵）に「子」がついて「かわいい」「小さい」ことを強調した名前です。

ミジンコは、その生き方から見ると動物プランクトンであり、「エビ」「カニ」の仲間です。実際の大きさは、小さいもので0.2mm。大きいオオミジンコは4mmになるものもあります。

プランクトンは遊泳力がまったくないか、または遊泳力があっても自分の力で定位を保てない生物です。一般的に動きながら摂食するものを動物プランクトン、光合成をおこなうものを植物プランクトンと言います。

日本の池や湖でもっとも普通に見られるのは「ダフニア」と「ゾウミジンコ」の仲間です。ダフニアは体長1mm～2mmです。ゾウミジンコはその半分以下の0.2mm～0.5mmしかありません。

ミジンコの体は透明です。それは、ミジンコを食べる魚から見えにくくするためにするためだといわれています。代表的なミジンコのダフニアの体のしくみは図のようになっています。それぞれにいろいろな役割を果たしています。

